

令和7年度
優良取組賞

株式会社ナンチュク

会社概要

株式会社ナンチュクは、1963年に設立。豚、牛処理施設、加工工場のほか、直販事業にも取り組み工場直送のお肉や加工品を提供する直売所やレストランも運営している。従業員数は717人（R8年1月現在）。工場全体にHACCP（危害分析重要管理点）システムを導入して衛生管理の維持向上に努め、安心安全高品質な製品作りを行っている。

削減実績

二酸化炭素排出量削減率 2.7%達成（令和元年度比）

※電力排出係数の変動の影響を考慮し、電力排出係数を基準年度（令和元年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（令和2年度～令和6年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全社的な省エネの取組

- ・ 省エネ法に基づき、部署責任者にて構成される省エネ委員会を月一回開催し、省エネ設備の導入に際して費用面及び効果等の検討を行っている。
- ・ 全国13か所の支店および営業所の全車両にドライブレコーダーを取り付け、配送ルート効率化を行い、CO₂排出量を削減した。

独自の省エネ

- ・ と畜・解体処理に必要な蒸気ボイラーやバーナー等の設備に使用する化石燃料エネルギーをクリーンエネルギー（LNG：液化天然ガス）に変更することでCO₂排出量を削減した。
（写真①）
- ・ 工場排水に含まれる脂や血液といった有機物については、コンポスト（微生物の働きによって発酵分解させ肥料にする仕組み）処理し、肥料化を行い、廃棄物の削減をしている。
- ・ 2020年から地元曾於市のフードバンク運営団体と協力し、地元の子ども食堂等に向けて、工場での精肉加工の際に発生する国産豚肉の切れ端を提供する取り組み（月に1回程度）を行い、廃棄物の削減を行っている。（写真②）

その他の省エネ

- ・ 工場内の照明を水銀灯からLED照明器具へ更新、人感センサー付きの高効率照明器具も導入している。（LED照明の導入は2027年末を目処に完了する予定）
- ・ 豚処理工場屋根に自家消費型太陽光設備をPPA（契約期間20年）で設置。パネル容量742.35kW、年間平均CO₂排出削減量300t-CO₂。工場の年間電力需要量の約7%を賄っている。
（写真③）

【①LNGタンク】



【②子ども食堂等へ提供】



【③太陽光パネル】

